



兵庫教育大学 大学院同窓会 会報

第三十二号

平成二十年三月一日発行

兵庫教育大学大学院
同窓会 広報部

大学との連携で 望ましい同窓会活動を

同窓会長 山下 裕



平成19年度から新しく会長に就任しました山下です。よろしくお願いたします。

会長の補佐として副会長を6年間続け、会長の仕事ぶりや大学との関わり、さらには会員への心遣いなどを直接見してきました。前会長の築かれたことを大切にしながら、会のねらいとすることを着実にやりたいと考えております。その際、国の動向や多様な世論の思い、とりわけ、教育改革の波の中において、不易の側面を大切にしながら、新しいことに積極的に挑戦していこうと考えております。

ところで、本同窓会の目的は会員相

互の親睦を図ることと、学校教育に関する諸問題について意見を交わすことにあります。そのために、毎年、総会や研究大会を大学内や関係の府県で開催し、その内容を会報を通して全国の会員に発信しています。ここ最近の総

会・研究大会の開催地は、広島・大阪・京都・島根・山口・岩手・広島でした。2回目の開催地が増えてきました。現在、各支部の活動の活性化という目的もあり、1回目の総会・研究会ができる県を探しているところであります。ちなみに、平成20年度は佐賀県で開催されることが決まり、佐賀支部は準備に取りかかっております。開催される支部の持ち味を出していただき、同窓会員がより幅広い教育観を身に付ける機会ともなれば幸いです。

さて、平成20年度に母校兵庫教育大学は創立30周年を迎え、様々な記念事業が計画されている中、本同窓会も節目として21世紀の教育の提言Ⅱ「現場からの教育改革」の発行を企画しています。本同窓会は、昭和57年2月24日に結成され、25年を迎えました。同窓会としての節目でもありますし、大学

との連携のひとつとして大学の記念事業に合わせて特別同窓会を行う計画であります。

また、本大学は、平成20年4月から正式に教職大学院を設置することが決まり、現代のさまざまな教育ニーズに対応できる高度な専門性と実践力・応用力を備えた教員の養成・研修が行われます。このことも関わり、大学と教育現場の協働的教師プログラム推進協議会が設置され、本同窓会からは会長が委員として委嘱されました。新しい教師教育プログラムの改善のために協力をしていきます。会員の教育実践資料の提供に期待をしております。

なお、本大学では、30周年を迎えるにあたり、「兵庫教育大学教育研究振興基金」を設立し、財政的基盤の強化、教育研究の充実を図るための募金を行うっております。会員の中には、すでに振込をされた方も多くおられますが、まだ振込のない会員におかれましては、お世話になった母校へ恩返しができるよい機会であると思っております。是非、募金に協力をお願いいたします。

子どもたちの諸課題に 「心の教育」に取り組む

心の教育実践コース長 渡邊 満



あなたが「心の教育」のバイオニアデスというキャッチフレーズと共に、「心の教育実践コース」がいよいよ平成20年度から教職大学院としてスタートします。すでに一年間従来の大学院の枠組みで試行をしてきました。ここではそれを踏まえて、本コースの目的、教育課程そして授業方法を中心にその概要をご紹介します。

1. 設置の趣旨・目的

社会が大きく変化していく中で子ども

もたちの諸課題や諸課題も多様化し、変化しています。これらに適切に対応するために「心の教育実践コース」を立ち上げました。本コースでは、「心の教育」を学校現場の取組を踏まえ、道徳教育、進路指導（キャリア教育）、生徒指導・教育相談、学級経営など、いわゆる「教科外教育」として位置づけられてきた教育活動を総合したものと捉えております。それに地域教育活動や家庭教育への支援活動までも視野に入れると、「心の教育」は広い意味でこれからの学校教育の中心課題であると言えます。

「心の教育」をこのように捉えた上で、本コースでは、「心の教育」に取り組むための実践的力量を高め、①学校現場で「心の教育実践」プログラムの開発・実施・評価にリーダーシップを発揮できる中堅教員

②これから教員となり、将来「心の教育」の中心的担い手となるべき若い教員

③これらの取組をリードし指導者となる教育行政の担当者

など、「心の教育実践スペシャリスト」の養成を目標にしています。また、神戸サテライトにも現職教員だけを対象とする夜間クラスを開設します。

2. 教育課程

教育課程は教職大学院の枠組みに則して共通基礎科目、専門科目そして実習科目の三層で構成されています。

共通基礎科目では、生徒指導・教育相談に関する領域に、「児童生徒の問題行動に関する事例研究」と「学校における心の教育の実践研究」の2科目、学級経営・学校経営に関する領域に、「児童生徒を活かす学級経営の実践演習」1科目を置いて、「心の教育」に関する基礎的な課題の把握を行います。専門科目では、道徳教育、進路指導（キャリア教育）、生徒指導・教育相談そして学級経営の各分野に科目を設定し、さらに地域教育活動と家庭教育への支援活動に関する科目を置いて、学

校の「心の教育」に関する総合的実践プログラムの開発をめざします。

実習科目では、「心の教育実践研究Ⅰ」（学校における「心の教育」の実践、「心の教育実践研究Ⅱ」（アクション・リサーチ）そして「心の教育実践研究Ⅲ」（ケースカンファレンス）の3科目を設定して、実践的指導力の段階的な開発を計画しております。

3. 授業方法

授業方法は、従来の講義中心ではなく、事例研究やアクション・リサーチを多く取り入れ、討議による展開を重視しております。

これによって院生の主体的な参加や実践的指導力の育成を期しています。

4. 入学希望者及び 修了生の皆さんへ

以上のように、心の教育実践コースでは、「心の教育」を単に一分野ないし一領域の課題と捉えるのではなく総合課題と考えております。

それだけに意欲的な先生方の入学を期待しております。周りの先生方への推薦をどうぞよろしくお願いします。

演「教育改革の動向と

兵庫教育大学の取組み」(要旨)

講

兵庫教育大学長 梶田 徹一



兵庫教育大学は、29年前に、教育界のリーダーを育成して、その力で教育界を変革しようという特別な使命をもって発足した国策大学です。設立当時から、特に広島県の方々にはたいへんな時期を担っていただき、本当に感謝いたしています。

これから少し、教育改革の話をしませう。みなさん、教育再生会議の第一次報告が、その後どうなったかご存知ですか。それらは一つも実現していません。それはなぜか。中央教育審議会(中教審)が、ノーという答申を出し

ているからです。教育改革ということ、はどういう仕組みで行われるのか。どこが決定権を持つのか知らないでやってみたら、現場は右往左往することになります。中教審は、いわば政党政治の中で、教育が政治に翻弄されるように作られている装置の役目もしているからです。

次に、教育界が直面している問題の一つに、お金の問題があります。吉田前会長が、兵庫教育大学の運営交付金が9割削減されるという新聞報道を、とても心配されていました。しかし、心配はいりません。兵庫教育大学は、特別につくられた大学であり、ミッション(使命)をきちんと果たしている大学だからです。

しかし、教育予算は、へたをするといふとどんどん減らされてしまうということがあります。小泉元首相は、「人材確保法案の廃止によって教員の給与の切り下げを図る」という項目と「子ども

の数の減少の率を上回る程度の教員の数を削減する」という項目が入っている改革推進法という法律を、強引に衆参両院に通してやめられました。今年度については、改革推進法の実施は、先送りするという事で、人材確保法案の廃止法案も国会に提出されておられません。中教審としては、2年前から教員定数改善計画をまとめて、財務省と交渉していますが、増やす方ではありませんダメです。

ところで、財務省から財政再建のために、6兆円という額を教育関係で減らすと示されました。それは、国が830兆円あまりの借金も持っているからです。財務省は財政再建のために、6兆円教育関係で減らすだけではなく、あらゆる聖域をなくして、あらゆるところから減らしていくとしています。この原則はよくわかります。しかし、教育の問題と高齢者福祉の問題から、お金を減額してしまつたら、日本という国はめちゃめちゃになってしまいます。あえて聖域を作るのが政治だということ、私はいつも言っています。

こういうことがある中で、中教審が言わなければならないことは、やっぱりお金の問題で教育が論じられてしま

うことが、いかにまずいかということ。たとえば、高等教育機関1200の中で、国立大学がどういう役割を教育的に果たさなければいけないのか。この議論抜きで、財政のつじつま合わせのために、国立大学の数を86校から40校に統合、縮小しようというのは、どうにもならないことです。教育論をもっともつとやらなきやいないということ、今頑張っています。

去年7月にだされた中教審答申の中で、教員養成の仕方について3点提案されました。兵庫教育大学では、教職大学院については、1年早く、スタートしています。免許更新制についても、モデルを作っていく予定です。それから、教員養成のカリキュラムは、来年の4月から、新しいプログラムになります。

このように、兵庫教育大学は、他の大学の実施に先駆けて、モデル校としてリーダーシップをとって取組んでいます。今後も、兵庫教育大学が、今までやってきた「教育界のリーダーをつくる」という機能がより一層発展するため、日々努力して取組んでいきます。

(文責：広島県同窓会)

記念講演

「プラズマテレビにかけた夢」(要旨)

広島大学大学院 客員教授

篠田 傳氏

富士通には、「夢を形に」という言葉があります。私は、この言葉をずっと胸にひめて、研究開発を進めてきました。そして、42型のプラズマディスプレイを開発し、世の中を変えてきました。

昔からプラズマディスプレイを作る夢はありました。実は、1927年頃から、アメリカのベル研究所がやっていました。しかし、当時の技術では、うまくいかなかった。そこで、私は、これまでの技術を生かしながら、どう

すれば色をうまく出すことができるのかを考えました。大事なことは、一つの新しい画期的な技術というのは、開発するのにおよそ20年くらいはかかるということですよ。これぐらいじっくりと育てなければ、画期的な技術というのは育たないと思うのです。

ところで、私は33歳の時に突然病気になる、明石病院に入院しました。入院中に、明石公園の中にある池の傍の石に座って、いろいろとアイデアを考えていました。この石をPGPストーンと名付けていました。その後、この石は、篠田博士が、プラズマテレビを発明した石として有名になっています。

私の病気は、その後もよくならず、ついに、職場復帰は無理だと宣告されました。そんな時、岡田先生の書かれた血液健康法という本に出会いました。その中には、「すべての病気は治る」と書いてありました。私は、岡田先生のところへ行き、話を聞きました。岡田先生の治療方法は、薬を別に出されるわ

けではなく、二口入れたら、50回噛みなさい。一日2食にきなさい。少しずつ動きなさい」というものでした。私は、岡田先生の言葉を信じるしかなかった。複雑な気持ちで実行していくと、不思議なことに、血液の検査で肝臓の働きを示す数値が、正常値になってきました。それから、この先生を信用して、そういうことを10年間続けました。こうして、私は、34歳の時に会社に戻ることができました。

それから、私は富士通の明石工場に残って、試作品を作りました。しかし、会社からは、一人で研究をやってくれといわれました。一人というのは、大変です。このとき、仲間を作らなければダメだということになりました。それから、仲間を少しずつ増やし、42型のプラズマディスプレイを完成させたのです。

私が、研究開発を行ってきた中で学んだことは、まず、夢をはぐくむことが大事だということです。夢は見つけるものではない。私も、たまたま始めたプラズマを9年ぐらいいやったら、本当にやりたい仕事につながってきました。そこで学んだことは、とにかく、自分のやりたいことを必死でやってみる。そこから、夢が生まれるということです。次に、自分がやっていることを信じ

ることです。人間は、生まれた時は、頭の中は真っ白です。それが、経験を積んで、頭の中ができて、それを使って一生懸命考えることができるのです。人間は、これまで経験してないことは、考えてはいない。だから、かなりの成功に近いことを発想していると思います。まずは信じる。そして、とにかくやってみる。やってみると何が起るのか。まず実験したら、失敗します。99%失敗します。その時、失敗した理由をよく考えるのです。そこには、人間の英知を越えた自然の摂理が入っています。そこに向けて一生懸命考えたら、すごい発見がいつばいあるわけです。まず、やること。やって、経験して、それを解決する。このことが大事なんです。その結果を考えて、考えぬく。この間も決してあきらめない。そうするとチャンスがくる。私も失敗の中で発見した。ここを繰り返している人は、失敗の中でヒントをみつけることができます。これがすごく大事なことです。

最後に、私の研究は、プロジェクトXに取り上げられて紹介されました。そのプロジェクトXのマンガ本も出版されていますので、ぜひ読んで見てください。

(文責：広島県同窓会)



同窓生紹介

人と機会に恵まれて

全国連合小学校校長会
港区立御成門小学校長

池田芳和



1. 岩田研究室が出発点

5期教科・領域教育専攻社会系コースの中で、岩田一彦先生の研究室にお世話になった。その年の岩田研究室は、島根の加藤武行先生、福岡の堤豊先生と私の3人だった。

当時、私は「地理意識の研究」や「歴史意識の研究」に興味を持っており、その発展を夢見て大学院にきた。それは共同研究であったこともあって、岩田先生は新たな視点からの研究をするよう進めてくれた。結果として、日本基層文化と社会科学授業における思

考方法を、言語、価値、規範という面から分析した修士論文になった。そのときピアジェの著作と出会ったが、「知能の誕生」を読んでいて、興奮から体が震えだし、疑問が氷解する体験をすることができた。その体験が自分の原点になっている。

2. 教育改革との出会い

現場に戻って2年後、教育委員会の指導主事として勤めることになった。当時は臨教審の答申を受けての改革、昭和62年の教育課程審議会の答申を受けての改革など、改革期特有の緊張感が漂っていた。コンピュータの導入、生活科の新設が話題となっていた頃である。「授業の質的転換」が言われた52年度改訂をどのように有効にするか、平成元年の学習指導要領の告示、移行措置期間をどのように条件設定するのかなど、指導主事としてやりがい

のある時期であった。その意味では広い視野から教育を眺め、学校が取り組みやすい改革を支える教育行政のあり方を考えることができた。木田宏氏の地教法の逐条解釈本に「教育作用の本質は、指導であって、決して監督ではない」とした指導行政の考え方がまた一つ自分に加わった。

3. 新しい学力観との出会い

都立教育研究所の指導主事の頃、「新しい学力観に立つ学習指導」の考え方に会った。それは、学力とその学力形成の問題を統合して考えるというもので、学力の基本的な考え方、学力形成に当たっての学習内容の問題、学習指導・教育方法の問題など、教育実践全体の問題と受け止める必要があった。「指導と評価の一体化」もその流れの中にあつた。

新しい学力観に立つ学習指導と子供の高さや可能性を生かす教育とが一体となっていることや基礎的・基本的な内容とは、子供の側に立ち、子供が身に付ける必要がある資質や能力であるという考えが付け加わった時期でもあつた。

4. 管理職時代

目黒区、東京都教育庁の課長の時期に、「21世紀を展望した我が国の教育のあり方について」の中教審答申が公表され、改革が進行した。完全学校週5日制、総合的な学習の時間の創設が決まったり、地方分権化のうねりが高くなったりした時に、教育行政をリードする立場にいた。東京で初めて独自の「基礎基本の定着度調査」を実施できたこと、ドラッカーの「マネジメント」という本に出会ったことが自分を変えた。

5. 校長・全連小会長として

「企業とは、顧客を創造すること」「マーケティングとイノベーション」など、学校経営にとっても重要な考えである。「マネジメント」の大きな機能は①目的を果たすためにある ②仕事を通じて働く人々を生かす ③組織が社会に与える影響の処理や問題解決への貢献などである。教育課程編成は学校経営の中核である。それを知識基盤社会を背景として、コンピテンスを重視した学校経営に高め、魅力ある学校作りに寄与していきたいと思う。

大学院同窓会の ますますの発展を

前同窓会長 吉田 廣 (教育方法1期)

会員諸兄弟には、日々研究と実践にご活躍のことと拝察いたします。

私こと、第27回同窓会広島大会を最後に会長を辞することとしました。顧みますと、平成5年の第13回同



窓会福岡大会にて、塩瀬会長よりバトンを引き継いでから、15年の歳月を経ました。この間、歴代の学長様をはじめ、歴代会長並びに現旧役員の方々の献身的なご努力と会員の皆様のご支援とご協力のお蔭で今日を迎えられたことができました。

兵庫教育大学は、昭和49年5月、鯉坂二夫甲南大学長を座長とした「新構想の教員養成大学等に関する調査会」によって「教員のための新しい大学・大学院の構想について」が文部省に提出され、昭和53年10月1日に新構想の大学として誕生いたしました。爾来30年、本年10月には大学は創立周年を迎えます。この記念すべき年の4月に教職大学院が開設され、社会に信頼される教員を養成する基幹大学として更なる飛躍が期待されています。職員には、教育者としての使命感と

人間愛に支えられた広い教養、教育理念、優れた教育技術や専門的学力など専門職としての高度の資質・能力が強く求められ、今日、修了生に対して大きな信頼と期待が寄せられています。

同窓会は、昭和57年2月より準備委員会を結成し、同年8月より実質的にスタートいたしました。会員は、すでに6000余名を超え全国各地の学校、教育委員会、大学及び研究期間等の中核的存在として日々活躍しています。

同窓会は、結成以来、大学と密接に連携を図り、研究・人的交流・会員相互の親睦を深める団体として歩んできました。ここ10数年、活動の面、財政面においても安定運営が続いていますが、各自自治体の財政の逼迫化により派遣教員が減少しつつあります。大学の発展はもとより修了生一人一人が教育現場で信頼される実践を積み重ねることが、結果的には同窓会の充実に繋がるものと確信いたします。

同窓会の更なる飛躍を次の山下新会長と役員に託すとともに、会員の皆様のご活躍とご発展を心よりお祈り申しあげます。

編集後記

多くの方々のご支援・ご協力をいただき、お陰様で、会報第32号を発行することができました。誠にありがとうございます。どうぞございます。

同窓会広島大会に参加して、講師の肉声を聞き、同窓生と顔と顔を合わせ語り合うことの嬉しさ・楽しさを感じています。情報化が進むだけに時には生身の関係を築いていくことが人生を豊かにするように思えてなりません。

7月26・27日に、同窓会佐賀大会―会場は決定次第 [Iryokyo-net] に掲載―が開催されます。多くの同窓生の皆様とお会いできることを楽しみにしております。(山口県 西川敏之)



▲ 巡検の最後はお好み焼きとビールで乾杯

役員等名簿

自 平成19年6月1日～至 平成21年5月31日

役職名	氏名	ブロック名	各 県 評 議 員										
会 長	山下 裕(兵庫)	西中国・四国	北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟	高木 良 川村 庸子 糟谷 文夫 石垣 隆孝 佐藤 晃 永嶋 啓一 吉田 重郎 大島 壽 青木 雅夫 松尾 鉄城 柳生 和男 小山田 稯 児玉 祥一 碓井 欣一	富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山	森山 川畑 杉田 梶原 原 玉木 浮穴 鈴木 田中 田中 田端 大槻 久保 和田 西端	義人 松晴 和一 正史 俊朗 隆 學 均 勉 吉巳 孝司 雅俊 哲成 光昭 幸信	鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎	金児 岩田 大久保 林 石川 田村 野島 清田 川崎 西河 草場 竹内 八間 有定 宮原	利明 進 勉 保 芳己 明敏 悟 公典 三雄 武 聡宏 カチ子 隆彦 裕雅 光秋	鹿児島 沖縄 神戸市	溝口 敬剛 系数 位上 孝之	
副 会 長	研究部	小西 豊文(大阪)	近 畿 ③										
	組織部	川合 康司(岐阜)	中部・東海										
	総務部	石井 生慈(兵庫)	近 畿 ①										
	事業部	和田 光昭(奈良)	近 畿 ③										
	広報部	西川 敏之(山口)	西中国・四国										
	会計部	北山 鎮道(岡山)	東中国・四国										
	院生代表	松尾 将(M1)	院 生 協										
監 事	◎望月 茂(静岡) 塚崎博行(兵庫) 田中嘉明(兵庫) 早川 求(島根) 中根弘之(岐阜) 岡崎 弘(和歌山) 中国大三郎(大阪) 牛田敏雄(三重) 中本幸美(大阪) 畑中佳美(京都) ◎は監事長												
顧 問	吉田 廣(兵庫)												
各 ブ ロ ッ ク 代 表 者 氏 名	ブロック名	ブロック長	副ブロック長	担当部	各部担当者氏名(理事)								
	東北・北海道	川村 庸子(岩手)	今野 英二(宮城)		菅原 廣次(宮城) 西前 弘幸(岩手)								
	関 東	石井 清文(東京)	松尾 鉄城(埼玉) 大島 壽(栃木)		壺内 明(東京) 荒井 豊(埼玉)								
	中部・東海 (福井を含む)	◎ 玉木 隆(岐阜) (◎印は代表)	勝俣 得男(静岡)	組織部 (6名)	森 社(岐阜) 鈴木 均(愛知) 幸脇 直久(岐阜) 田中 勉(三重) 須山嘉七郎(静岡)								
	近 畿 ① (兵庫・京都・滋賀)	石井 生慈(兵庫)	田中 吉巳(滋賀) 畑中 佳美(京都) 位上 孝之(神戸)	総務部 (5名)	森 一郎(兵庫) 竺沙 敏彦(京都) 大高 忠(兵庫) 松村 喬(滋賀) 久保 哲成(兵庫)								
	近 畿 ② (大 阪)	大槻 雅俊(大阪)	柴山 雅由(大阪) 塩見 能和(大阪)	研究部 (4名)	太田 久(大阪) 武井 英明(大阪) 田窪 豊(大阪) 中尾 豊喜(大阪)								
	近 畿 ③ (奈良・和歌山・ 大阪含む)	岡崎 弘(和歌山)	和田 光昭(奈良) 川崎 寛(和歌山)	事業部 (5名)	浜野 重治(和歌山) 上西 一郎(兵庫) 西端 幸信(和歌山) 田先 崇志(兵庫) 菅野 恭介(兵庫)								
	西 中 国 (山口・島根・広島)	久楽 信吾(山口)	柿手 宣昭(広島)	広報部 (5名)	市川 博登(広島) 藤原 尚幸(島根) 藤本 浩行(山口) 毛利 直巳(島根) 久楽 信吾(山口)								
	東中国・四国 (岡山・鳥取・四国)	武 泰稔(岡山)	清田 公典(愛媛)	会計部 (3名)	大久保 勉(岡山) 清田 公典(愛媛) 安治 紘紀(鳥取)								
九 州 (沖縄を含む)	宮原 光秋(宮崎)	草場 聡宏(佐賀) 村上 良典(鹿児島)		野中 純(長崎) 草場 聡宏(佐賀) 有定 裕雅(大分)									
参 与	武 泰稔 酒巻 成欣 塩瀬 昌雄 右藤 和弘												
事務局長	森 一郎(兵庫)												

第27回兵庫教育大学大学院同窓会・広島大会



第27回 兵庫教育大学大学院同窓会全国大会（広島大会） 平成19年7月28日 於 アークホテル広島



▲ 総 会



▲ 懇 親 会

来年度は

佐賀大会で

集おう

期日：平成20年7月26日(土)

～27日(日)

会場：佐賀市内

▶ 巡 検 (呉 ・ 鉄 の く じ ら 館)

